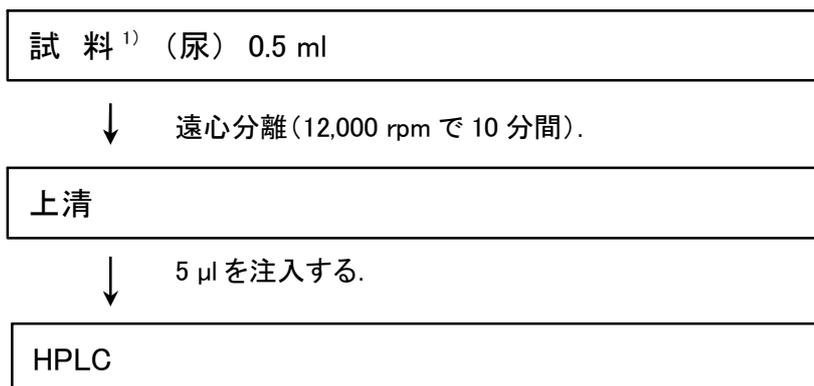


## (2) 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)

## i) 前処理



## 【注 解】

- 1) 正常人尿では試料を希釈しなくても測定可能であるが、濃度によって適宜水で希釈して再度測定。
- 2) トルエン暴露の判定は呈色法の注解 2)を参照。

## ii) HPLC の条件

装 置	: 高速液体クロマトグラフ
検出器	: 紫外検出器
カラム	: Candenza CD-C18 (Imtakt) <sup>1)</sup> 15 cm × 4.6 mm i.d., 粒径 5 µm
カラム温度	: 室温
移動相	: アセトニトリル/0.1 % TFA (15:85, v/v) <sup>2)</sup>
流 速	: 0.7 ml/min
測 定	: 波長 250 nm <sup>3)</sup> ; 時間 20 min <sup>4)</sup>

## 【注 解】

- 1) カラムは通常の ODS カラムあるいは C<sub>8</sub> (オクチル基) カラムでも使用可能である。
- 2) 移動相にメタノールを使用すると理論段数が悪くなる場合がある。
- 3) 測定波長が 225 nm 付近では夾雑ピークの影響を受けやすい。夾雑物の影響を受ける場合は測定波長を適宜変更する。
- 4) 馬尿酸の保持時間は 8.9 min である。